



らないこと、不安に思うことは聞けばいい。それに答えてくれる仲間がいる。それが分かってからは、逆に、こんな環境で働くことができるのはありがたいと思うようになりました。

田中 私が入庁した時期はコロナ禍で入庁初日からPCR検査をやったくらい、すごく保健所が忙しかったんです。それで他の職場で働いているいろいろな職種の皆さんが応援職員となって、それも体育館が埋まるくらいの方が集まって保健所の業務を支えてくださいました。コロナ禍では、先がみえない辛さがありましたが、保健所で働く皆さんは、必ず乗り越えられると信じていて、あきらめないという雰囲気がありました。まさにオール県庁でチームがまとまっていて岐阜県職員の力ってすごいと思いました。それから、やはり皆さん岐阜県民なのですごく優しく、私から声をかけられなくても先輩たちから声をかけて手伝ってください。先輩たちは指導するというより私が自分で気づいて動けるようにさりげなくアドバイスをしてくださいます。保健師のための研修もあります。市町村と共同で事例検討をしたり、県民の方とのかわり方や話し方などを学んだり実践的な内容です。サポート体制は充実していると思います。

古川 技術職だと職種別の専門研修がありますね。土木職には土木行政全体の課題や河川・砂防の状況などについて、県庁の係長が講師になって教えてくれる研修があります。最新の技術や情報をいち早く学べるのはいいですね。僕は、入庁してからはOJTで仕事のやり方のコツや一つ一つの業務の必要性を具体的に教えてもらえました。そこを理解して取り組むことで、すんなり職場になじめました。上司には「任せろんだから、任せろ以上はミスをして怒らない。何か起こっても全部こちらで修正するから思うようにやっていい。」と言われて、それを聞いてからは、事業の意義や必要性を自分で見出しながら仕事にあたるようになりました。短い期間で成長できたと思います。

同僚とのつながりは？

九野 県職員は若手が多いので同世代で助け合いながら仕事ができる所はいいですね。しんどい仕事を一緒にした仲間。お互いにがんばっている姿を見ることは励みになります。プライベートも共有できる友人ができたことは自分の財産だと思っています。

田中 私も保健師の同期は4人なのでとても仲良くしています。グループ通話でお互いの仕事の状況を報告して情報共有し

たり、そこでお互いに励ましあったり。若手の保健師が集まる会もあるので保健師間での親交を深めています。

古川 僕は県庁でいろいろな職種の方とつながりができました。職種が違うからこそ全く異なる意見を聞くことができます。県庁はいろんな専門性をもった人たちの集まりだから、お互いに固定概念がくつがえされるような発見もあって、きっとそれは仕事にも活かされているんじゃないと思います。

ワークライフバランスは？

九野 私は結婚して間もないので、今はプライベートを優先した働き方をしています。上司から「お休みは積極的に取ってね。」と声をかけてくださるので職場として休暇を取りやすい雰囲気があります。

古川 僕の知る限り、お子さんがいらっしゃる男性職員が全員、育児休業を取得されているので、そういう環境がつけられているって働く場所として魅力的だなと思います。職員からすると当たり前になっていて気づいていない働きやすさがたくさんあるんじゃないかな。

足立 福利厚生のはきは圧倒的にありますよ。僕もそれに惹かれて転職したというところはあります。

古川 実は、僕は、今月大きな仕事が片づいたので毎週金曜日はすべて休暇を取得することにしました。趣味のサッカーの大会に出場するために。こんなふう自分で仕事のスケジュール調整をしてOFFの日をつくるのはすごくうれしい。プライベートも充実しています。

採用試験対策は？

九野 私は大学3年生の3月くらいから公務員試験の勉強を始めました。試験まで半年なくて、すごく焦りましたが、重点的に法律の勉強をして、面接や論文対策は大学のサポートを利用していました。大学からのアドバイスはとても役立ちました。



田中 私は保健師の国家試験の勉強をしていたので専門試験には不安はありませんでした。教養試験の対策は大学3年の2月、3月から始めましたが、勉強したことがない分野もあって大変でした。来年度の保健師採用試験に新たに加わったSPI方式には教養試験がないと聞いています。受験しやすい試験ができて今の学生がうらやましいです。

古川 SPI方式は、日程も会場も自由に選べるところが魅力ですね。従来方式の教養試験に比べると幅広い分野の知識が問われる問題ではないので、試験対策の時間が取りにくい社会人の方もチャレンジしやすいのではないのでしょうか。

足立 僕が社会人で受験した行政Ⅱの試験には専門試験がないので試験対策の負担はあまり感じなかったですね。SPI方式なら岐阜に来なくても全国で受験できるので、さらに受けやすくなっているいいですね。

受験者に伝えたいこと

九野 行政職はいろいろな分野の仕事があって、2、3年おきに部署異動することが多いです。同じ仕事を続けるよりいろいろなことを吸収しないといけないので、新しいことに挑戦することが好きな方に向いている仕事だと思います。どんな仕事でも異動があるので、前向きにがんばることができます。そんなところを行政職志望の皆さんにお勧めします！

足立 県行政の使命は、時代に合わせた新たな取組をすることで県民の暮らしを豊かに変えていくことだと思います。チャレンジ精神を持っている方、ぜひ受験してください！

田中 保健師は生活の中で県民を支える施策に携わっています。県の保健師の具体的な業務を知ってもらえたら、きっとその魅力がわかると思います。ぜひインターンシップなどで現場を知ってもらいたいです！

古川 岐阜県は地域によって自然環境が異なっていて、いろいろな地形があります。そこに土木職の技術で目に見える構造物をつくっていく。県の当たり前の風景をつくっていく。そんなやりがいのある仕事です。インターンシップには、1か月間業務に従事して給料の支給がある長期型もありますし、1週間程度の短期型もあります。また、技術職では1day仕事体験も開催しています。こういったイベントを通じて県で働くということを感じてほしいです。お待ちしております！

岐阜県庁についてもっと詳しく知る

県の組織



職種別業務内容



MESSAGE

受験者へのメッセージ

PR動画



みなさんと一緒に仕事ができることを楽しみにしています！

部署が変わるごとに新しい発見があり、仕事のおもしろさや自分の成長を実感できます。

九野

あなたの「強み」を活かせる場所が岐阜県にはあります。僕たちと一緒に岐阜県を盛り上げていきましょう。

足立

心強い先輩や同僚に支えてもらいながら楽しく仕事ができる職場です。

田中

様々な職種の職員と一緒に仕事をする中で、自分の視野がどんどん広がっていきます。

古川